

- 1 マルコ・ポーロが見聞をまとめて出版し、日本を「黄金の国ジパング」として紹介したことで知られる著書を何という？
- 2 元軍の再襲来に備えて鎌倉幕府が博多湾の沿岸に築いた、石造りの防壁を何という？
- 3 モンゴル帝国が建国されたのは、日本ではどの時代にあたる？
- 4 源頼朝の死後、将軍を補佐して幕府の実権を握った北条氏の役職を何という？
- 5 武士の気風を反映し、写実的で力強い特徴を持つ、鎌倉時代に栄えた文化を何という？
- 6 承久の乱を起こし、鎌倉幕府を倒そうと試みた上皇は誰？
- 7 1185年、源氏が平氏をほろぼした最後の戦いを何という？
- 8 『方丈記』などの文学作品に色濃く反映されている、社会が安定せず、戦乱が絶えない世の中の状態を指す言葉は何？
- 9 将軍が御家人に土地の保証や新しい領地の支給を行うことを総称して何という？
- 10 承久の乱の後、初代の六波羅探題として京都に留まり、のちに3代執権となって御成敗式目を定めた人物は誰？
- 11 後鳥羽上皇が幕府の倒幕を企てたが、幕府側が勝利し、朝廷に対する幕府の優位が確立した出来事が起こったのは何年？
- 12 琵琶法師によって語り継がれた、平氏一族の栄枯盛衰を描いた軍記物語を何という？
- 13 鎌倉幕府が、年貢の徴収や土地の管理、治安維持のために各地に置いた役職を何という？
- 14 鎌倉時代に領地を複数の子に分けて引き継ぐ慣習を何という？
- 15 『方丈記』において、乱世の出来事を通じて描かれた仏教的な思想を何という？
- 16 鎌倉幕府が土地管理や年貢徴収を行わせるために、各所に配置した役職を何という？
- 17 『平家物語』を琵琶を弾きながら語り歩き、物語を全国に広めた人を何という？
- 18 十三世紀後半、モンゴル帝国から日本へ侵攻してきた軍隊を何という？
- 19 鴨長明が著した『方丈記』のように、作者自身の見聞や感想などを自由な形式で書いた文章のジャンルを何という？
- 20 鎌倉時代後期に、困窮して幕府の支配に抵抗するようになったかつての幕府の味方は誰？
- 21 法然が開いた浄土宗が拠点とし、教えを広めた場所はどこ？
- 22 平氏の焼き討ちで焼失し、鎌倉時代に重源らによって再建された、南大門に金剛力士像がある奈良の寺院を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	帰国後に獄中で語った内容が記録され、出版されたのが『 <u>世界の記述（東方見聞録）</u> 』です。		<u>世界の記述（東方見聞録）</u>	☐
2	幕府は北九州の御家人たちに命じ、博多湾の海岸沿いに石造りの長い防壁を築きました。これが「 <u>防壁</u> 」です。		<u>防壁</u>	☐
3	チンギス・ハンはモンゴル帝国を建国し、強力な騎馬軍団を率いて次々と周辺地域を征服しました。		<u>鎌倉時代</u>	☐
4	<u>執権</u> は、はじめは將軍の補佐役として置かれていましたが、北条時政が初代となって以降、北条氏が世襲するようになりました。		<u>執権</u>	☐
5	<u>鎌倉文化</u> は、武士の気風や、新しく起こった仏教の影響を受けています。		<u>鎌倉文化</u>	☐
6	1221年、 <u>後鳥羽上皇</u> は全国の武士に対して北条義時を討つよう院宣（命令）を出しました。		<u>後鳥羽上皇</u>	☐
7			<u>壇ノ浦の戦い</u>	☐
8	「 <u>乱世</u> 」という言葉は、平穏ではない社会の荒廃や人々の不安な心理を表します。		<u>乱世</u>	☐
9	「 <u>御恩</u> 」とは、將軍が御家人に対して本領の安堵（土地の支配権を認めること）や、新しい領地の供与を行うことです。		<u>御恩</u>	☐
10	<u>北条泰時</u> は、北条義時の長男として活躍し、乱の直後に京都に六波羅探題を設置して政治基盤を固めました。		<u>北条泰時</u>	☐
11	<u>1221年</u> 、後鳥羽上皇が北条義時追討の院宣を出して挙兵しました。		<u>1221年</u>	☐
12	『 <u>平家物語</u> 』は、平清盛をはじめとする平氏一族の栄華と、源氏との戦いによる滅亡を描いた作品です。		<u>平家物語</u>	☐
13	<u>地頭</u> は、荘園や公領において年貢の取りまとめや土地の管理を行いました。		<u>地頭</u>	☐
14	<u>分割相続</u> とは、武士の家督を継ぐ際に、所有する領地を子供たちで等しく分ける方法です。		<u>分割相続</u>	☐
15	<u>無常観</u> とは、この世のすべての存在は常に変化し、永遠に続くものはないという仏教の教えです。		<u>無常観</u>	☐
16	<u>地頭</u> は、荘園や公領において土地の管理、犯罪者の取り締まり、そして年貢の徴収を行うために配置されました。		<u>地頭</u>	☐
17	<u>琵琶法師</u> は、琵琶の音色に合わせて、平氏の栄華と滅亡をドラマチックに語り伝えました。		<u>琵琶法師</u>	☐
18	<u>元軍</u> は、モンゴル人を中心に、支配下の漢人や高麗人などを加えた巨大な連合軍でした。		<u>元軍</u>	☐
19	<u>随筆</u> は、特定の形式にとらわれず、著者が感じたことを素直に綴る形式です。		<u>随筆</u>	☐
20	経済的に追い詰められた <u>御家人</u> は、借金を重ねるなどして没落していきました。		<u>御家人</u>	☐
21	<u>吉水</u> は法然の住居があった場所であり、ここを中心に念仏の教えが貴族や民衆にまで広く伝わっていきました。		<u>吉水</u>	☐
22	鎌倉幕府の協力のもと、重源という僧が中心となり、 <u>東大寺</u> の再建が進められました。		<u>東大寺</u>	☐

言えなかった用語ノート